

令和 7 年度

政務活動費 共通経費 整理表

会派等の名称	新奥会
--------	-----

政務活動費(共通経費)支出整理票			整理番号	02 - 01
			支出整理日	令和 07 年 09 月 22 日
令和 7 年度	会派等名	新奥会	支出項目	調査旅費

共通経費額 (按分対象額)	97,800	円
------------------	--------	---

使途： 会派行政視察（10/15UR都市機構東日本都市再生本部, 10/16日本中央競馬会, 総務省）

No.	支出の明細	支出日	領収書金額	対象外	対象支出額
1	交通費・宿泊費のバック料金	R07-09-22	97,800		97,800
2					0
3					0
4					0
5					0
6					0
7					0
8					0
9					0
10					0
合 計			97,800	0	A 97,800

共通経費 按分表	連番	議席番号	議員名	割合(B)	按分額(A×B)
	1	9	小野 優	1/3	32,600
	2	10	及川 春樹	1/3	32,600
	3	12	高橋 晋	1/3	32,600
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
按分人数		3	合 計		97,800

(注意) 按分額の合計は、端数整理（円未満切り捨て）により共通経費額と一致しない場合があります。

備考	No. 1 市の旅費規定に準じて算定した1人あたりの交通費・宿泊費
	の合計額38,090円未満。

視 察 行 程

● 1 日目 (10 月 15 日 (水))

10:00-12:00

水沢江刺駅——東京駅——西新宿——UR都市機構東日本都市再生本部

— (昼食) ———新宿駅——飯田橋駅——おうしゅう首都圏産業交流会

———宿泊地

● 2 日目 (10 月 16 日 (木))

10:00-12:00

13:30-15:30

宿泊地——日本中央競馬会—— (昼食) ——総務省——東京駅——

——水沢江刺駅

令和7年度 行政視察先

	内 容
日 時	令和7年10月15日 (水) 10:00~12:00
視察先	UR都市機構東日本都市再生本部
調査事項	最近の地方都市における再開発の傾向について ・ 中心市街地の再生 ・ 空き家・空きビル問題 ・ 立地適正化計画との関係 ・ 公共交通との連携 ・ 医療・福祉との連動 ・ 将来展望・財源 ・ 未来羅針盤プロジェクトの関連

2025 おうしゅう 首都圏産業交流会

日時：令和7年10月15日 (水) 15:30~19:00 (開場16:00) 定員100名 事前申込制

会場：ホテルメトロポリタンエンドモント (東京都千代田区飯田橋3-10-8)

URL: <https://logoform.jp/f/wxIut>

申込締切：令和7年9月30日 (火)

申込締切後でも定員に達し次第、受付を終了いたしますのでお早目にお申込下さい

第1部 講演会 15:30~ (参加費:無料)

■ 主催者挨拶 奥州市長 倉成 淳

■ 講演 I 「EV市場で日本の自動車および部品・車載半導体が 勝つための処方箋と東北への期待」
名古屋大学 未来材料・システム研究所 名古屋大学大学院 工学研究科 電気工学専攻 教授 山本 真義 氏

■ 講演 II 「東北のものとづくりと人づくり」
トヨタ自動車東日本株式会社 地域連携推進領域長 林田 根太郎 氏

第2部 情報交換会 17:40~ (19:00終了予定 参加費:5,000円)

主 催：奥州市議会
共 催：奥州市企業振興推進委員会
後 援：奥州市、(株) 中小企業基盤整備機構、奥州市産業振興会、奥州市商工会、(株) 奥州市銀行、(株) 北日本銀行、(株) 東北銀行、水沢信用金庫、奥州市とさと産業協同組合、奥州市対農協同組合

(領収書等添付用台紙)

整理番号

02 - 01



領収証No. : 1000204089-02
取引年月日 : 2025年09月22日
発行日 : 2025年09月22日

再発行

領 収 証

小野 優 様

領収金額	¥ 97,800
------	----------

(内訳)

(内消費税 10%)

旅行代金 (消費税込)	¥ 97,800	(¥ 8,890)
-------------	----------	-----------

但し、ご旅行代金として

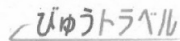
上記、正に領収いたしました (クレジット決済)

予約番号 : A50922000741

※本誌は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。

JR東日本びゅうツーリズム&セールス
JR EAST VIUAT TOURISM AND SALES COMPANY LIMITED

〒130-0013
東京都墨田区錦糸3-2
アルカイースト10階
登録番号 T1011001029712



ログアウト



取引条件説明書 (兼予約内容確認書)

(出力) 2025/09/22 09:05

このページを印刷する

閉じる

オノ ユタカ 様 御一行様
取扱箇所 オンライン販売サポートデスク

ダイナミックレールバック 東京の旅
予約番号 A50922000741

ご案内

本書面は、旅行業法第12条の4による旅行取引条件説明書面及び、旅行契約が成立した場合は旅行業法第12条の5により交付する契約書面の一部になります。

この旅行は、旅行企画・実施者が企画・募集し実施する企画旅行で、お客さまは旅行企画・実施者と企画旅行契約を締結することになります。

[旅行企画・実施]

株式会社JR東日本びゅうツーリズム&セールス
東京都墨田区錦糸3-2-1
観光庁長官登録 旅行業第1135号
一般社団法人 日本旅行業協会 正会員
旅行業公正取引協議会会員、ボンド保証会員



[取扱営業所/受託販売取扱営業所]

オンライン販売サポートデスク
東京都台東区上野7-1-1 上野駅構内2階
電話番号 03-6231-6644
旅行業務取扱管理者 [Redacted]
10:00~18:00 (年中無休)

旅行契約の内容についてご不明な点がございましたら、上記旅行業務取扱管理者にお問い合わせください

ご旅行日程 2025年10月15日 (水) ~2025年10月16日 (木)

旅行参加人数 おとな3名
合計3名

ご旅行代金合計 97,800円

ご旅行代金内訳

JR+宿泊	代表者	おとな	32,600円
	同行者1	おとな	32,600円
	同行者2	おとな	32,600円
	小計		97,800円

ご旅行代金合計

97,800円

行程詳細

10月15日(水)

乗車券

水沢江刺 → 東京

料金券

水沢江刺 06時38分 → 東京 08時56分

新幹線はやぶさ102号

指定席

7号車 / 7D、7E、8D

TRAIN DESK

おとな3名

10月15日(水)
～1泊後楽ガーデンホテル
お部屋タイプおまかせ【素泊まり】

食事なし

プランコード: 13570338

おまかせ (1～2名)

1名1室利用

バス・トイレ付き

禁煙

代表者

おまかせ (1～2名)

1名1室利用

バス・トイレ付き

禁煙

同行者1

おまかせ (1～2名)

1名1室利用

バス・トイレ付き

禁煙

同行者2

施設からの確認事項

チェックイン予定時刻を入力してください

14時00分

ご要望がありましたらご記入ください

10月16日(木)

乗車券

東京 → 水沢江刺

料金券

東京 18時56分 → 水沢江刺 21時10分

新幹線はやぶさ109号

指定席

7号車 / 7D、8D、8E
TRAIN DESK

おとな3名

※当社が手配を行わない日は特別補償対象外になります。

ご旅行条件

最少催行人員：

1名(ただし部屋の1室最少利用人数以上)

添乗員の同行：

同行はございません

お客様情報

代表者

小野 優 (オノ ユタカ) 様

男性 /

〒023-0041

岩手県奥州市水沢秋葉町76

電話番号(自宅など)：

携帯電話：

緊急連絡先：

メールアドレス1：

同行者1

タカハシ ススム様

男性 /

同行者2

オイカワ ハルキ様

男性 /

お支払情報

クレジットカードでお支払

政務活動費(共通経費)支出整理票			整理番号	05 - 01
			支出整理日	令和 07 年 12 月 12 日
令和 7 年度	会派等名	新奥会	支出項目	広報費

共通経費額 (按分対象額)	380,520	円
------------------	---------	---

使途：新奥会会派会報「しんおうvol. 8」の発行と配布

No.	支出の明細	支出日	領収書金額	対象外	対象支出額
1	印刷、新聞折込料	R07-12-12	380,520		380,520
2					0
3					0
4					0
5					0
6					0
7					0
8					0
9					0
10					0
合 計			380,520	0	A 380,520

共通経費 按分表	連番	議席番号	議員名	割合(B)	按分額(A×B)
	1	9	小野 優	1/3	126,840
	2	10	及川 春樹	1/3	126,840
	3	12	高橋 晋	1/3	126,840
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
按分人数		3	合 計		380,520

(注意) 按分額の合計は、端数整理(円未満切り捨て)により共通経費額と一致しない場合があります。

備考	印刷代 30,900部×8円(消費税込) = 247,200円
	新聞折込代 30,300部×4.4円(消費税込) = 133,320円

領 収 証		江刺の自慢 奥州藤原氏発祥の地 歴史公園「えさし藤原の郷」 江刺金札米・江刺りんご・江刺牛 岩谷堂タンス・鹿踊り・大滝泳一		No. 050728	
新奥会様		令和 7 年 12 月 12 日		内 訳 現金 小切手 手形 相 殺 内消費税 合 計	
金額	¥ 380,520				
但し、会報<8>印刷代と封込料代として 上記の金額正に領収しました。					
 200円 sashi.co.jp/ 登録番号: T5400602000880		担当者 		誇りある郷土づくりのお手伝い  有限会社 江刺プリント社 〒023-1111 岩手県奥州市江刺 TEL (0197-35-4639) FAX (0197-35-6160)	

新奥会 御中 TEL: 210465		納品・請求書					
		納品日 令和 7 年 12 月 12 日 伝票No. 039790					
有限会社 江刺プリント社 T5400602000880 代表取締役 高橋 晋 023-1111 岩手県奥州市江刺大通り6-2 TEL: 0197-35-4639 FAX: 0197-35-6160		担当: 					
※この書類はインボイスに該当しますので、適切に保管してください。							
区 分	商 品 名	数 量	単 位	税 率	単 価	金 額	備 考
売上	会報<8>	30,900	部	10.0%	8	247,200	
売上	日4 折り込み料立て替え代 14日朝刊	30,300	枚	10.0%	4.4	133,320	
*	【税率別内訳】						
				10.0%	345.928	34,592	380,520
				合計	345,928	34,592	380,520
合 計						380,520	
摘要 取引銀行・岩手銀行江刺支店 普通0166923 ・北日本銀行江刺支店 普通2033942							



奥州市議会新奥会 会報

しんおう

Vol.8

令和7年12月
発行

令和7年度 新奥会行政視察報告

令和7年10月15日・UR都市機構東日本都市再生本部
◎最近の地方都市における再開発の傾向について

奥州市は人口減少の中、都市の内部においてスポンジ化が進んでいます。URの活動内容は、都市再生事業等を行っており、地方公共団体などと連携して都市開発の推進、民間事業者との協力による密集市街地の整備等を行っています。

市では現在、老朽化した建物や密集した市街地を、土地の高度利用や公共施設の整備によって更新し、都市機能や居住環境を向上させる事業を進めています。今回の視察で最も参考になったのは行政であってもコストバランスを考えて持続可能な地域発展を進める必要があることで、昨今の材料費高騰がコスト高を招く中、民間の投資意欲が出てくる際に併せて行政も支援していく方策の方が、より効果的に事業が進むように感じました。それに合わせ、行政としては下地作りや制度を整えたり、滞っている道路整備や上下水道整備を進める必要性も感じるものでした。



UR都市機構東日本都市再生本部が入っている建物

10月16日・JRA日本中央競馬会
◎地方競馬の関係性や将来ビジョンについて

岩手競馬は昨年60周年を迎えました。ここ数年は自治体からの借入に対する返済が可能な黒字が続いていますが、決して長期的な安定が見えているわけではなく、岩手競馬の今後の展望を描く上でもJRAとの関係性は重要であると考え視察しました。

JRAは2004年の競馬法改正以降、地方競馬全国協会を通じて特別振興資金を提出しており、岩手競馬においては道路照明整備や大型映像装置の更新などに活用しています。JRAにとって地方競馬は共存共栄のパートナーであり、そのために発売網の連携や交流競走（重賞含む）の拡大や、レース体系の整備にあたっているということでした。岩手競馬もそうですが、年々ネット販売の比率がJRAでも高まっており、3年連続1兆円超え4年連続最高額を更新、一方で伸び率は地方競馬の方が高い傾向にあるということでした。



10月16日・総務省自治財政局
◎公立病院と地域医療の現状と将来性について

公立病院の位置づけや再編の方向性、医師確保策、財政支援制度などについて詳しい説明を受けました。

公立病院は県立病院との役割分担を明確にし、連携を強化することが重要であり、再編や統合の方向性は地域が主体的に決めるべきとの見解が示されました。医師確保については特別交付税による支援措置が説明され、財政面では病床数等に応じた普通・特別交付税の仕組みが紹介されました。

また、病院建設に関する国の支援は「地域医療構想」に沿うことが前提であり、現計画が該当しない場合は特別な財政措置の対象外となることも確認されました。地域医療の将来を考えるうえで、地域全体で病院の役割を協議し、国・県と連携した計画づくりの必要性を強く感じました。奥州市が進めようとしている「新医療センター」に関しては、引き続き会派として病院の必要性も含めて、市民や医師会と共に考えてまいります。



新奥会議員活動報告

会長
小野 優
(47歳)

水沢秋葉町
建設環境常任委員会
議会運営委員会委員長
議会広報委員会
岩手県農馬組合協議会議員



議会運営委員会委員長として議会基本条例の検証作業、そして奥州市議会議員政治倫理条例の制定に注力しました。基本条例の検証に際しては突き詰めていくと奥州市議会のあるべき姿、それも市民からどういった議会像を求められているかという観点が必要です。コンプライアンスの強化が求められる時代にあつて、基本条例の中の項目だけでは不十分であるということから制定するものですが、作っておしまいでなく、実効性を持たせるための研修制度の確立などが、今後必要になっていくと考えます。

建設環境常任委員会では、ごみ減量施策に関する政策提言に取り組みました。現在の最終処分場は、市民の皆様のご理解とご協力がある、当初の想定より使用可能期間は延びていますが、それでもいつかは次の埋め立て地を決めていくことにな

ります。その決定を少しでも先に延ばすためにも、ごみの減量化に更に取り組む必要があります。今回の提言では単にごみを減らすだけでなくごみを資源として捉え、有効活用につなげていく方策の検討というところまでは進められましたが、その実現にはある程度の費用も発生することから、その部分は今後更に議論していくことになると思います。

今年度の一般質問はここまで、「次期総合計画の策定について」「DX全体方針について」「生活保護について」「新型コロナウイルス対策について」「空き家対策と固定資産税の在り方について」を取り上げてきました。特に新型コロナウイルス対策については、この間の経験をしっかりと蓄積し、新たな感染症発生に対する準備を怠らないことを指摘し、当局とその認識は共有できたのではないかと感じています。

副会長
高橋 晋
(63歳)

江刺畑田町二丁目
産業経済常任委員会
副委員長
議会改革検討委員会委員長
国際リニアコライダー誘致
推進議員連盟幹事



6月議会一般質問では、「江刺市街地エリア開発整備構想、旧商業施設跡地（旧イオン江刺店）活用の進捗状況及び今後の方針について」を質問しました。さざらホール無き後の江刺地域の文化活動が衰退しないよう引き続き質問してまいります。

また、「奥州市のシティプロモーションの取組について」議員が書いた「おうしゅうたろう」を中心とした取組が、新医療センターのプロモーションなど公平性を欠く使用方をしないよう質問しました。

9月議会一般質問では、「奥州市文化財保存活用地域計画について」本計画は令和18年に予定される、旧自治体の博物館や記念館を統合する「新博物館」の建設を指すのかを教育長に質問しました。

また、「投票証証明書」に「おうしゅうたろう」のイラスト

の活用が、投票率向上や市民の関心喚起に資する可能性を選挙管理委員長に質問しました。

今後の選挙においても、証明書のデザインとして「おうしゅうたろう」を活用し、証明書交付を継続し投票率向上に努める旨の答弁をいただきました。

12月議会では、「県立岩谷堂高校の2系列廃止問題について」「公共交通の将来像について」市長に質問しました。

議会改革検討委員会として、議会そのものの改革を進めています。会議の効率化や情報公開の充実、ICTの活用など、市民が分かりやすく議会を理解できるように、全員協議会や請願審査のインターネット中継や資料公開も拡大しています。

産業経済常任副委員長として、「体験型商店街に関する政策提言書」を9月議会において市長に提言しました。

幹事長
及川 春樹
(55歳)

水沢羽田町字明正
建設環境常任委員会
副委員長
議会運営委員会
市政調査会副会長
奥州金ヶ崎行政事務組合協議会議員
国際リニアコライダー誘致
推進議員連盟幹事長



我々、市議会議員の活動も3年半が経過し、残すところ数ヶ月となりました。今任期ほど市民含意、含意形成について改めて考えた事はないかと思えます。

6月定例会に出された請願「新医療センター整備について抜本的な見直しを求める」の紹介議員として請願審査にも出席しましたが、地域の医師の方々の理解を得ていない今の進め方では、市民の不安は払拭できないのではないかと思います。奥州市は今後、胆江広域水道用水供給事業（第3期整備計画）の大型案件も後に控えており、東北財務局からの奥州市財務状況の分析結果では令和18年度では積立低水準（留意すべき状況）の指摘があり、2つの大型案件が加わる今後の財政計画の見通しに懸念が残るものと思います。

一般質問は以下のように致しました。

6月定例会

「医師養成少額資金の義務履行先の要件緩和について」

①医師確保が難しいが要件緩和により市立・県立病院間の医師派遣を進め、地域に偏差した医師の確保、育成を進めることについて

②その人材交流を柱に市立・県立病院の連携を深め地域医療の充実を図ることについて

「ものづくり分野の起業のための場所の確保について」

①ものづくり特化型インキュベーション施設の整備

②低コストな起業拠点の提供

③機械・設備のシェア制度の構築

●建設環境常任委員会副委員長として「奥州市のごみ減量施策に関する政策提言書」の12月定例会での提言に向けて進めています。

●市政調査会副会長として、令和7年度奥州市議会市民フォーラム「なるぞ！なるぞ！市議会議員」を開催しました。

特集・市議会議員のなり手不足について

前回の市議会議員選挙が無投票に終わったことから、今任期は議員のなり手不足について調査・研究を重ね、奥州市議会としては議員定数・報酬ともに現状維持、という結論に至りました。このテーマについて、新奥会としての考えを整理してお伝えし、今後の皆様のご判断の参考にしていただければと思います。無投票は絶対に避けなければなりません今後も人口減が続くことを考慮すると、新奥会としては様々な要因を検討しながらも、定数削減・報酬増という方向で進むべきと考えております。



令和6年度奥州市議会主催市民フォーラム

議員のなり手不足といいますが、単純に考えれば新しい候補者がいない、ということを示すのですが、奥州市議会の場合、前回の選挙では8人、前々回では9人の新人が立候補及び当選しております。

これだけの新人がいて、何故無投票になってしまうのか。その要因の一つに、それまで候補者を出していた地域から新しい候補者を出せなくなっている、という現状があります。昨今、町内会や自治会の役員のなり手不足の話をよく耳にするようになりましたが、議員も同様の状態であると捉えております。

無投票＝定数削減が一般的な通道かもしれませんが、定数の話を取り上げると、一定数の方から現状維持、もしくはむしろ増員を求める声必ず上がります。定数を下げると地盤を持たない若い人材の立候補のハードルを上げる（当選得票数が上昇する）、という指摘の他に、それぞれの地域からまんべんなく議員を出すべきだ、という意見もあるからです。立候補のハードルが上がることに限ってはその通りであります。どの地域からも代表を出すべきだというご意見について、現実にはそれができる状況にない、ということをまずはご理解いただければと思います。

少しでも立候補者を増やそうとすれば、議員報酬の増額も視野に入れざるを得ません。報酬増の話については、物価高騰にあえぐ苦しい市民生活が続く中で「議員たちだけがいい思いをするのは許せない」という厳しい声もいただきますし、それは私たちも同様の思いです。では何故定数削減と同時に報酬増を掲げるのか。それは「民主主義のコスト」という視点からこの問題を捉えているからです。

近年の歳出に占める議会費は【表1】の通りです。奥州市の財政状況は危機的状況を脱したとはいうものの余裕がある状況では決してなく、議会費、特に議員報酬に関わる部分は基本的に令和5年度や令和6年度決算における割合を維持していくべきだと考えますので、議員報酬だけを上げるという判断にはなりません。そこで改めて議員定数と報酬の関係を整理するために、奥州市の人口推計と類似一般市の現在の状況を照らし合わせてみました。

【表2】

2020年における奥州市の人口推計は112,286人でしたので、類似一般市の分類105,000～115,000人に当てはまります。該当する市は全部で23市ありますが（奥州市含む）、その議員定数の平均値は22.8人です（奥州市は28人）。同様に議員報酬を見ていきますと、平均値は455,939円です（奥州市は360,000円）。2030年や2040年の奥州市の人口推計を類似一般市の状況に照

らし合わせると、やはりそれぞれの値に乖離があります。この値をベースに歳出に占める議会費の割合を掛け合わせて、奥州市議会としての適正な議員報酬・定数を導き出していくべきだと考えます。極端な話をすれば計算式を前もって定め、その後は機械的に数字を決めていく、という方法もありえます。

加えて、議員報酬については単に計算式に当てはめるだけでなく、議員・議会の働きぶりを評価していただいた上で、といった観点も必要になるでしょう。次期任期ではなり手不足について改めて議論を整理した上で、市民の皆様に納得していただける結論を導き出していきたいと思っております。

【表1】歳出に占める議会費の割合

	歳出総額	議会費	議会費 / 歳出総額
R 5	62,775,147,164	281,667,081	0.45%
R 6	64,310,215,256	281,275,879	0.44%

【表2】奥州市の人口推計と類似市の議員定数・報酬との比較※1

奥州市の人口推計※2		2020	2030	2040
		112,286人	99,012人	86,231人
定数	奥州市	28	28	28
	類似一般市			
	105,001～115,000人※3	22.8人 (23市)		
	95,001～105,000人		23.1人 (28市)	
報酬	奥州市	360,000円※4	360,000円	360,000円
	類似一般市			
	105,001～115,000人※3	455,939円 (23市)		
	95,001～105,000人		420,571円 (28市)	
	85,001～95,000人			427,050円 (30市)

※1 2020年1月1日時点の全国市議会議員の市議会議員定数・報酬に関する調査結果を参考に平均値を算出

※2 2016年の奥州市人口ビジョンによる推計値

※3 奥州市の人口はこの時点では117,360人だが人口の範囲には推計値を用いた

※4 議員報酬は議長、副議長を除いた額

編集を終えて

2期目最後の会報をお届けするにあたり、市民の皆さまからの日頃のご支援と温かい励ましに、あらためて心より感謝申し上げます。私たち新奥会は、この4年間、地域の声に耳を傾け、一つひとつの課題に真摯に向き合いながら活動してまいりました。

今後も、市民日線を第一に、より良い奥州市の未来づくりに力を尽くしてまいります。どうか引き続きのご指導とご協力をお願い申し上げます。



会報Vol.1
◎私たちの地域
医療の今日と
明日



会報Vol.2
◎奥州市の財政
の今後



会報Vol.3
◎審判報告書



会報Vol.4
◎4年間を振り返って



会報Vol.5
◎新たな議員を
迎えて



会報Vol.6
◎行政視察報告



会報Vol.7
◎奥州市の医療
はどうあるべきか